

令和5年(2023年)(1月～12月)活動報告

◆研究所の活動◆ (主なもの)

○調査研究活動

市の持続的な発展と計画的な市政の推進に資するため、市を取り巻く社会経済活動の変動を見据えながら、中長期的視点に立った都市政策に関する調査研究を行っています。

令和5年度(2023年度)は「豊中市の子どもの学びと育ちに関する総合的な調査研究」を行っています。本調査研究では、充実した子ども・教育施策の実施にむけ、子どもに関する教育・福祉などの行政データや質問紙調査を連結させ、分析を実施します。

▶研究会・勉強会等

- ・〔5月〕関西学院大学リサーチコンソーシアム発表(研究員 石村知子・比嘉康則・平田誠一郎)
- ・〔5月〕せたがや自治政策研究所 視察受入れ
- ・〔6月〕関西・自治体シンクタンク情報交流会 参加 (Zoom 開催)
- ・〔6月〕大阪市教育委員会 視察受入れ
- ・〔9月〕日本計画行政学会全国大会 発表(研究員 石村知子)
- ・〔9月〕独立行政法人国際協力機構(JICA) 視察受入れ
- ・〔10月〕草津未来研究所 視察受入れ
- ・〔10月〕日本公衆衛生学会総会 参加(研究員 石村知子)
- ・〔11月〕自治体シンクタンク研究交流会議 参加(於 西条市)(所長 森田宏人、研究員 比嘉康則・平田誠一郎)
- ・〔11月〕日本計画行政学会関西支部大会 発表(研究員 石村知子・比嘉康則)
- ・〔11月〕佐世保市 視察受入れ
- ・〔12月〕多文化まなびあいネット 参加(研究員 比嘉康則)

★第14回都市調査研究グランプリ(日本都市センター主催)にて最優秀賞を受賞

比嘉康則研究員が令和4年度(2022年度)に行った調査研究「豊中市における地域づくりと健康づくりに関する調査研究 ―社会的処方視点をふまえて―」が、都市調査研究グランプリにて最優秀賞を受賞いたしました。最優秀賞を受賞するのは、令和3年度(2021年度)に続き2度目となります。

○普及啓発事業

豊中市政資料や、まちづくり・行政経営など都市政策全般に関わるさまざまな文献データ、関係機関の資料などを収集し、市民や市職員に提供しています。また、他の自治体や大学機関からの視察などもあり、意見交換、勉強会などの交流も行っています。

▶意見交換会等

- ・〔7・8・9・10月〕庁内グループ支援事業～くらしの基礎調査研究会(人事課共催事業)キックオフイベント(7月)社会調査マスターへの道inとよなか～
講師 東洋大学社会学部 助教 金澤良太さん
- ・〔10月〕大阪大学公共政策研究会

○データバンク事業

都市政策、地方自治に関する文献や資料を収集しています。蔵書リストはホームページで公開しており、市民や職員へも貸出しています。(令和5年(2023年)12月現在で、書籍約2030冊、雑誌約2920冊を所蔵)

○人材育成事業

市職員の政策形成能力の向上を図る取り組み

や大学インターンシップ生の受け入れを行っています。



- ・ 研究所インターンシップ 写真1 インタビューの様子
受け入れ1名（大阪大学）
インターンシップ生が関心のあるテーマについて調査研究を行い、成果を発表しました。

◆調査研究報告会の開催◆ (総務部人事課との共催事業)

目的：令和4年度（2022年度）に実施した調査研究の報告を行い、都市政策に関する問題や本市の抱える課題等について市民や職員の認識を深め、市民の市行政に対する理解と市職員の政策形成能力を高める機会とします。



写真2 報告会の様子

日時：令和5年（2023年）5月31日（水）
10：00～12：00

会場：豊中市役所別館

【研究報告1】「豊中市における孤独・孤立に関する調査研究」 研究員 平田 誠一郎

国の調査に準拠したアンケート調査の実施・分析などにより、豊中市における孤独・孤立の発生状況や健康との関連などについて実態を把握し、求められる支援の方向性について考察しました。

【研究報告2】「豊中市における地域づくりと健康づくりに関する調査研究」 研究員 比嘉 康則
地域のつながりづくりと一体となった健康づ

くりのさらなる推進に向け社会的処方のエッセンスをどのように活かすことができるのか。概念・先行事例の整理や市内勉強会などをおして検討しました。

【研究報告3】「豊中市における健康データの利活用に関する調査研究」 主任研究員 石村 知子

データを用いた市民の健康課題の可視化や、健康政策の効果の分析に取り組むとともに、関連部署と連携した大学との共同研究を実施し、市内健康データの利活用のあり方を実践的に検討しました。

【講演】「連携型共同研究による被保護者健康管理支援データの活用」

大阪医科薬科大学医学研究支援センター医療統計室
講師 西岡 大輔さん

令和4年度（2022年度）に、研究所と連携して健康管理支援データを分析していただいた経験から、自治体の政策における健康という視点の大切さ、部署間が連携することの効果などについてお話しいただきました。

【パネルディスカッション】「公民学連携が拓く都市政策の推進」

大阪医科薬科大学医学研究支援センター医療統計室
講師 西岡 大輔さん

関西大学社会学部 教授 草郷 孝好さん

社会的処方セミナーや共同研究など、令和4年度（2022年度）の研究所の調査研究に関わっていただいた感想や、市民の健康増進に向けた今後のまちづくりのあり方、他部署・他機関連携に向け職員に期待することなどについて、お二人からお話しいただきました。



写真3 パネルディスカッション登壇者